

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	0人	0人	8人

前回の改善計画

- ・ご家族様と本人が施設を挟んで話し合いの場を多く設けたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ほとんどの利用者様のご家族から利用者様個人の情報や家族情報を話し合って現況で一番良い利用方法を模索しありが納得した利用が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか?	3	5	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	1	7	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	7	0	0	8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前は、基本情報の回覧・ミーティング等で情報を共有している。
- ・利用者様の変化を常に気付けている。
- ・訪問や通いの際本人やご家族様に不安や困った事が有るかいつも訪ねている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・殆ど問題無いと思われる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・別になし

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画

- 今以上に寄り添い、何が言いたいのか、何をしたいのかを態度と行動を深く追求する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 認知症の方以外はお互い意思疎通が図れるが、認知症の利用者様は日々態度・行動が変わり把握するのが難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	1	7	0	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0	8	0	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？	0	8	0	0	8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発信し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	7	1	0	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 今的生活が継続出来る方法を本人とご家族に寄り添って実現できるよう努めた。
- 実践出来た事をミーティングで報告し共有している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 認知症の利用者様については寄り添いを大事にしているが日々行動・感情が即変化するので中々理解することが難しく出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 今以上に寄り添い、何が言いたいのか、何をしたいのかを態度と行動を深く追求する。
- 今後増えるだろう認知症の勉強を今以上に進める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	0人	8人

前回の改善計画

- 施設内で認知症についての基本学習の時間を多く設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 施設内の利用者様で認知症の方が問題行動を起こした場合、都度ミーティングに掛け全員で改善策を話し合って解決している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 項以上把握できていますか?	0	8	0	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	5	3	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならぬい声をチームで言語化できていますか?	2	4	2	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	2	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	8	0	0	0	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用者様の体調に合わせ個別の支援を変えた対応が出来た。
- 残存機能を生かした支援が出来た。
- 一人一人の変化をミーティングに出し共有した支援が出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 突然的な問題行動の対応が難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 日頃の生活パターンを早い段階で把握し不安を取り除く環境を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画

- コロナが収まつたら積極的に社会との関係を深めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- コロナの法的扱いが変わっただけで消滅した訳でないので、当分の間は今まで通りの対応としている。
- 今以上の改良されたワクチンが開発され安全が確保出来たら制限無しの生活を推進する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	0	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	0	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	4	0	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	5	1	0	8

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 地域の季節ごとの行事などを利用者様と一緒に知らべたり、車で現地に行って安全を確保しながら参加する機会を多く設けた。
- コロナを用心しつつ、距離を取り面会を実施している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 現在も外部との接触を最小限に規制している。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 社会環境の動向を見ながら対応して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成5年11月20日(16:00~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	ミーティング参加者8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	0人	0人	8人

前回の改善計画

- ・本人とご家族様双方と話し合う時間を多く設け、双方が満足行く対策を探る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者様やご家族のニーズに殆ど対応できた。
- ・突発的な問題が生じた時もお互い満足行く対応が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとして、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	0	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	0	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	8	0	0	0	8
④	その日、その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	7	1	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・変化が有った場合はミーティングで共有情報として対応出来た。
- ・本人又はご家族様の要望を柔軟に受け入れ対応した。
- ・個人の一日一日の変化に合わせた支援が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・別に無かったと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・本人の日頃の変化は殆ど把握出来るが急な変化に対しては把握出来ない。(季節的・生理的変化)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成5年11月20日(16:00~19:00)
6. 連携・協働	メンバー	ミーティング参加者8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

- コロナや他感染病の状況によっては地域のイベントに参加を検討したい。

前回の改善計画に対する取組み結果

- まだ消極的な対応しか出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業者)との会議を行っていますか?	4	4	0	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	6	1	0	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	4	0	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	4	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 車で色々な場所に出向き季節ごとの行事を車内より見学したり、港や公園で外に出て楽しんだ。
- 施設近くの保育園児の訪問でお遊戯を披露してもらい楽しむ事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域では、まだコロナ影響で殆ど行事が開催されていないので殆ど参加は出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 地域の動向に注視し少しづつ元の生活に戻していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成5年11月20日(16:00~19:00)
7. 運営	メンバー	ミーティング参加者8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	0人	0人	8人

前回の改善計画

- ・職員が協力して地域に施設の案内及び施設内の情報を発信する。
- ・地域活動が開催されるに合わせ、地域の一員としての役割を果たす。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ホームページに色々な活動様子を載せるなどして発信できた。
- ・パンフレットを様々な施設や沢山の人に配布した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	4	0	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	0	0	8
④	地域に必要とされる観点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	4	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・施設の様子を発信した事で皆さんの意見や要望が聞けた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・今だ地域のイベントが前の様に開催されず、地域との関わりがまだ薄い。
- ・施設内でも集団で行うレクリエーションに制限がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・安心して参加出来るイベントを模索する事に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについて再度徹底した教育が必要。 ・オンライン研修・その他研修に余裕をもって参加出来るような勤務日程を計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	2	0	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	2	0	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	3	3	2	0	8
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	8	0	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講習の内容を職場内の研修として発表しスキル向上に取り入れた。 ・積極的にオンライン講習を交代で受けさせた。 ・毎日のミーティングにみんなでリスクになりそうな事案を上げ意見交換させている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者の教育では具体的なこの施設の過去のリスクについて理解させ難い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者のリスクに関する教育には時間を持って具体的に行う必要がある。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 5 年 11 月 20 日 (16:00 ~19:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	ミーティング参加者 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	3 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について、認知症で歩行でふらつく利用者に関しては「安全の為の拘束」か「危険覚悟の解放」かはご家族を巻き込んで慎重に話し合い施設内ルールを確立したい。

前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様は怪我の回避を望んでおり、対応策として最小限の拘束で対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	1	7	0	0	8
②	虐待は行われていない	7	0	0	0	8
③	プライバシーが守られている	8	0	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	0	0	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができる	8	0	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーや個人情報に関する事は徹底して取り扱った。 ・身体拘束や虐待については毎日ミーティングの議題に出している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度を実施した事が無い。 ・ふらつきながら動き回る利用者様の行動範囲を制約させたが、これも身体拘束としてカウントした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について、認知症で歩行でふらつく利用者に関しては「安全の為の拘束」か「危険覚悟の解放」かはご家族を巻き込んで慎重に話し合い施設内ルールを確立したい。 	

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適當と思われる箇所に□を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適當と思われる箇所に□を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になつても、介護が必要となつても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願ひします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	✓		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	✓		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	✓		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	✓		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ○今までの行事は維持しながらもっと自然に触れたり、まだ社会に参加している事を自覚させられる工夫を検討する。	✓		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	✓		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	✓		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	✓		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	✓		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからぬ
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 ○ 地域の活動・イベント参加はこのまま維持していく。 ○ 災害時は避難場所として地域に提供出来る準備を整える。保存食・医療品の確保を検討する。	✓		
1	職員はあいさつできていますか？	✓		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	✓		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	✓		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからぬ
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 ○ 近隣地域の施設、公民館などから資料の収集を始めて行く。	✓		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	✓		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	✓		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	✓		

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ○ 事業（事故・ヒヤリハット）は是正対策が上手く機能しているかを検討する。 (教育)は計画通り進められているかの検討を行う。	✓		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	✓		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	✓		
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	✓		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	✓		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ○ 毎年春秋に実施している避難訓練・火災訓練を実施している。特に地震想定の避難訓練は時間を計り「南の森運動公園」に避難を実施した。避難開始から到着まで25分掛かる事が分った。避難経路を含めもっと短縮出来る方法を検討中。 ○ AED貸出は可能。社内教育で全員が心肺蘇生法、AEDの取り扱いを可能にして行く。	✓		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	✓		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	✓		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	✓		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	✓		

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからぬ
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	✓		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	✓		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	✓		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	✓		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- 事業所全体が風通しの良い環境を構築した事でスタッフが一丸となって色々と取り組む事が出来る。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- 家での生活が快適に過ごせるよう住宅改修を進めたが家族様より現状維持との事で進める事が出来なかった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- 実際、改善計画は施設が工夫・努力すれば達成可能な事案なので出来ると思われる。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

別に無し

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	✓		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	✓		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	✓		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 施設は地域に溶け込んでいる為色々な方が気軽に来園されてる。
- 施設内は毎朝、毎夕清掃をしてるので常に清潔が保たれている。
- 認知症の利用者様が不穏な場合は出入口を施錠するがそれ以外は解放している。

【前回の改善計画】

- コロナが収まつたら積極的に地域イベントに参加する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- 施設にいると季節の変化を肌で感じる機会が少なくなるので施設内の模様を季節毎模様替えを実施している。また季節の温度も感じてもらえるよう窓を解放している。

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	職員はあいさつできていますか？	✓		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	✓		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	✓		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 挨拶は人間生きて行く上での最低のコミュニケーションと思っているので徹底して行っている。
- 現在まで何度か大きい地震が来た時に近くの住人がこの施設に沢山集まって来ている。

【前回の改善計画】

- コロナが収まつたら積極的に地域の活動やイベントに参加する。
- 災害が有った場合の避難場所としての機能は整えておく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 東日本大震災を教訓に食料の十分な確保を現在も実施している。
また、非常事態が発生した場合、食料販売会社の協力を得られるようにしている。

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	✓		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	✓		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	✓		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 月に数回車でスタッフ・利用者様全員でドライブに出かけている。
- 現在は地域のイベントには余り参加出来ていない。地域のイベント自体余り無い。
- 本人が住んでる地域の方達との会議・交流はご家族様が賛成しない。
- 利用者様近所の方々には周知されている。

【前回の改善計画】

- コロナが収まつたら積極的に地域の活動やイベントに参加する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- デイ利用の方達は基本元気なので近所との交流は維持出来るが車椅子利用者様は社会との交流を自ら疎遠になる傾向が見られる。また不便になった姿を見られるのに抵抗が有る様に思われる。

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	✓		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	✓		
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	✓		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	✓		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 運営推進会議はコロナにより実施を見送っていた。
- 運営推進会議では地域との取り組みや事業所の方針を明確に話し合っている。
- 運営推進会議では特に事故やヒヤリハットの事例・対策を話し合っている。

【前回の改善計画】

- ヒヤリハットの個人差を無くすルールを作る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- 運営推進会議を計画するが家族様の協力が得られない事が多い。

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	✓		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	✓		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	✓		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	✓		

コメントの追加 [m1]:

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 毎年3回は防災訓練を実施している。（火災・地震・水害を想定した訓練）
- 施設では避難経路、避難場所を決定している。
※ 全員を車に乗せ避難場所までの時間は訓練時に毎回計測している。
※ 25分が基準でこれより少しでも早く到着した場合は方法を皆で検証している。

【前回の改善計画】

- コロナが収まり消防署主催の心肺蘇生法の講習会が始まったらどんどん参加させる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- 当施設では避難訓練には大いに自信を持つことが出来たので次のステップとして全員が心肺蘇生法の習得に力を入れて行こうと考えている。

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	✓		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	✓		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	✓		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	✓		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	✓		

コメントの追加 [m1]:

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 毎年3回は防災訓練を実施している。(火災・地震・水害を想定した訓練)
- 施設では避難経路、避難場所を決定している。
 - ※ 全員を車に乗せ避難場所までの時間は訓練時に毎回計測している。
 - ※ 25分が基準でこれより少しでも早く到着した場合は方法を皆で検証している。

【前回の改善計画】

- コロナが収まり消防署主催の心肺蘇生法の講習会が始まったらどんどん参加させる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- 当施設では避難訓練には大いに自信を持つことが出来たので次のステップとして全員が心肺蘇生法の習得に力を入れて行こうと考えている。

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表										
法人名	株式会社 みやび	代表者	塙原 隆道	法人・事業所の特徴	当事業所は地域には数少ない地域密着型の多機能型施設であり、地域の皆さんにはいつもでも泊まり・通い・訪問サービスが受けられるとして大変喜ばれています。また、朝早くから夕方遅くまでご利用出来ると要った柔軟性も兼ね備えています。地域の皆さんや家族の皆さん、そして本人と共に安心して快適に暮らせる地域のよりどころを目指しています。					
事業所名	ケアサービス みやび	管理者	塙原恵美子							
出席者	市町村職員 人	知見を有するもの 人	地域住民・地域団体 人	利用者 2人	利用者家族 4人	地域包括支援センター 1人	近隣事業所 人	事業所職員 3人	その他 人	合計 10人
項目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画		
A. 事業所自己評価の確認	<input type="radio"/> 家での生活に支障がないよう住宅改修を進めて行く。			<input type="radio"/> 快適に過ごせるよう住宅改修を進めたが家族様より現状維持との事で進める事が出来なかつた。		<input type="radio"/> お金が掛かっても安全を第一に考えるよう家族様と相談して進めて行きたい。		<input type="radio"/> 家での生活に支障がないよう住宅改修を進め安全で快適な生活を支援する。		
B. 事業所のしつらえ・環境	<input type="radio"/> コロナが収まつたら積極的に地域イベントに参加する。			<input type="radio"/> 施設にいると季節の変化を感じる機会が少なくなるので施設内の模様を季節毎模様替えを実施している。また季節の温度も感じてもらえるよう窓を解放している。		<input type="radio"/> 現状を維持して行く。		<input type="radio"/> コロナが一応のところ収まつたので季節を感じる場所やイベントに沢山参加する。		
C. 事業所と地域のかかわり	<input type="radio"/> コロナが収まつたら積極的に地域の活動やイベントに参加する。 <input type="radio"/> 災害が有った場合の避難場所としての機能は整えておく			<input type="radio"/> 東日本大震災を教訓に食料の十分な確保を現在も実施している。また、非常事態が発生した場合、食料販売会社の協力を得られるようにしている。		<input type="radio"/> 東日本大震災の時近所の皆さんが施設に大勢集まった。その時の食料確保に苦労した過去を踏まえ今の体制に至った。		<input type="radio"/> 地域で一番安心・安全な場所と思われる施設にして行く。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<input type="radio"/> コロナが収まつたら積極的に地域イベントに参加する。			<input type="radio"/> デイ利用の方達は基本元気なので近所との交流は維持出来てるが車椅子利用者様は社会との交流を自ら疎遠になる傾向が見られる。		<input type="radio"/> 本人、ご家族様の要望に沿った支援をして行く。		<input type="radio"/> ご家族様の協力が必須なので要望に沿った支援をする。		
E. 運営推進会議を活かした取組み	<input type="radio"/> ヒヤリハットの個人差を無くすルールを作る。			<input type="radio"/> 危険行動、若しくは危険な環境がヒヤリハットとし事故につながる要因は全て排除する教育をした。		<input type="radio"/> 会議で一番関心を持たれる議題が事故。それだけ施設内安全が皆さまに要求されている事が分かった。 <input type="radio"/> 個人が感じる危険視の度合いに違いが有る事が分かった。全員同じ感性を持ってもらう事にした。		<input type="radio"/> ヒヤリハットと少しでも感じた事例をミーティングに掛け全員で評価する。 <input type="radio"/> 危険の種は全て排除する運動を全員で進める。		
F. 事業所の防災・災害対策	<input type="radio"/> コロナが収まり消防署主催の心肺蘇生法の講習会が始まつたらどんどん参加させる。			<input type="radio"/> 当施設では避難訓練には大いに自信を持つことが出来たので次のステップとして全員が心肺蘇生法の習得に力を入れる。		<input type="radio"/> 今まで数人の利用者様が雑談・静養中にスッと心肺停止になつた事が有つたので誰でも即対応出来る体制にする。		<input type="radio"/> 消防署主催の「心肺蘇生法」の研修会に全員参加を目標にする。		